



## 交流

		✓	メモ
1	交流（※）の実施があるか		
2	交流のときに、先生がついてきてくれるか		
3	行事のときに、交流級に参加ができるか		
4	交流の時間数は、週にどのくらいか (一番多い子どもと少ない子どもの差は)		

## 学習

		✓	メモ
1	教科学習をしているか、しているなら週何時間か		
2	教科書を使って学習をしているか		
3	個別学習の時間はあるか、あるなら週何時間か		
4	生活単元学習（※）の考え方を取り入れているか		

## 環境（場）

		✓	メモ
1	クールダウンスペースはあるか		
2	子どもの動線を考えて物が配置されているか		
3	危険な箇所など、気になるところはないか		
4	特別教室の配当時間（※）はあるか		

## 環境（人）

		✓	メモ
1	在籍している子どもあたりの、先生の数		
2	介助員さんの人数		
3	介助員さんがいる曜日、時間数		
4	大人の人員配置にゆとりがあるか		
5	次年度に異動が確定している先生はいるか (今話している先生が、来年もいるか)		

## 年間行事

		✓	メモ
1	面談は、年間何回あるか		
2	支援計画の提示は、何回（何月）か		
3	支援計画は、どのような形式か		
4	通知表は、どのような形式か		
5	通知表は、交流級からも出るか		
6	保護者同士のつながりや行事はあるか		

## 連携

		✓	メモ
1	自治体（公的）の療育機関と連携をしているか		
2	民間の療育機関と連携をしているか		
3	ケース会議を実施したことがあるか		
4	保育所等訪問支援（保訪）を受け入れているか		
5	上記の連携頻度はどのくらいか		

## その他

		✓	メモ
1	学籍移動が可能か（支援級から通常級へ移籍など）		
2	近年、学籍移動の例はあるか		
3	できないことを訓練するのではなく、子どもの得意を伸ばすための合理的配慮がされているか		
4	感染症対策は、どのようなことをしているか		
5	オンライン授業に対応したことがあるか		
6	通常級の子どもも、クールダウンなどで支援級に来ることがあるか		

### ※交流

「交流及び共同学習」のこと。支援級に在籍しながら、通常級で他の子どもたちと一緒に学習・生活します。子どもの得意な教科や活動で行われることが多いです。

### ※生活単元学習

一連の活動を組織的に経験することによって、教科を渡って総合的に学習するもの。体験することで生活の中で使えるスキルを身につけます。

### ※特別教室の配当時間

体育館や校庭、音楽室や図工室など、特別教室は基本的に学級ごとに配当されています。通常級だけでなく、支援級にも配当があるかどうか確認するといいですよ。

## 【 チェックリストの考え方・使い方 】

支援級の見学、体験時に見るべきポイントのまとめです。

支援級を見て比べるときの基準としてご活用ください。

家庭によって重視する項目が異なりますので、評価点等はつけていません。

「すべての項目ができていないとダメな学級！」というわけではありません。

ご安心くださいね😊

（しいて言えば、「外部との連携」ができていない学校は、高く評価できません。）